

1番員 新美陽一郎さん(26歳)



ホースを延長して、指揮者の命令をポンプ操作員(3番員)に伝達し、放水の補助も行います。脚力のスピードと正確な動作が必要とされます。

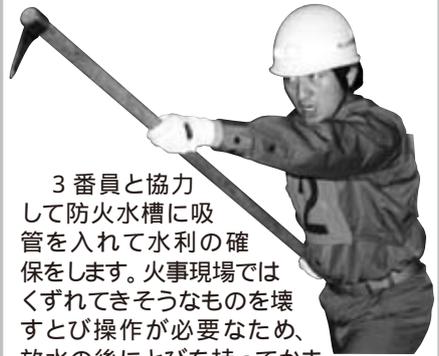
<コメント>

練習はつらいですが、第1分団の底力を県大会で披露してきます。

第53回
愛知県消防操法大会
小型ポンプ操法の部

出場
メンバー

2番員 水野慎一さん(27歳)



3番員と協力して防火水槽に吸管を入れて水利の確保をします。火事現場ではくずれてきそうなものを壊すとび操作が必要なため、放水の後にとびを持ってかまえます。水利確保には3番員と息を合わせることが大切です。

<コメント>

頑張るのは当たり前。結果を絶対に残します。

指揮者 西島大祐さん(第1分団分団長・26歳)



隊員に号令を出し、チーム全体の指揮を執り、標的に向けて放水を行います。はっきりと明瞭な言葉で指示を出すことが必要で、隊員の気持ちを高め、雰囲気作りをする大切な役割です。

<コメント>

出場するからには一番を目指します。

第1分団



団長からアドバイスを受ける団員

ガッツだ!!



放水の練習

3番員 田中俊充さん(26歳)

水利の確保と小型ポンプ操作を行います。指揮者の指示が1番員から伝達されると、放水ができるように水を送ります。ポンプの圧力を調整する技術が必要となります。

<コメント>

悔いが残らないように全力を出し切ります。



目指せ優勝



ポンプの点検をする団員

吸管補助員

小野貴嗣さん(27歳)



水利の確保後、吸管が防火水槽から出ないように押さえる役目をします。しっかり押さえなければ水はホースを伝わらず放水することができません。補助員ですが重要な役割です。

<コメント>

仲間の足を引っ張らないように、日ごろの練習の成果を皆さんに見せてきます。